



第57回伊勢原観光道灌まつりの様子

9月定例会
8/14～9/3

市長提出議案15件を
認定・可決・同意

9月定例会では、令和5年度公共下水道事業会計決算案をはじめ、学校給食費に関する条例の制定など市長から提出された議案15件を審議し、いずれも原案のとおり認定・可決・同意しました。
個人・団体から提出された陳情5件については、いずれも不採択としました。

一般質問は、3日間行われ、13人の議員が市政に対する考え方などについて執行機関の説明を求めました。(2・3面に一般質問)

主な可決議案

令和5年度公共下水道事業会計決算の認定

収益的支出および資本的支出を合計した最終予算現額は、75億7千万円で、決算額は63億5千万700万円となりました。予算に対する執行率は、83・9%でした。

学校給食費に関する条例の制定

市立小中学校における働き方改革の取組の推進、保護者の利便性の向上を図ることを目的に、学校給食費を公会計化するため、新たに条例を制定しました。

附属機関に関する条例の一部を改正する条例

学校給食費に関する条例の制定に伴い、学校給食の運営に関する重要な事項について担任する「学校給食運営審議会」を教育委員会の附属機関として設置するため改正しました。

令和6年度一般会計補正予算(第3号)

第3号の補正予算では、①市民文化会館の設備破損に伴う修繕経費を追加するほか、国の基準見直しに伴うシステム改修経費や市議会議員補欠選挙執行に伴う経費等を追加。②法人市民税に係る過誤納還付金および加算金を

追加することにより、既定の予算総額に、1億678万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、393億6千755万4千円とするものです。

固定資産評価審査委員会委員の選任

令和6年9月30日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に、引き続き酒井昌直氏(石田)を選任したい旨の議案が市長から提出され、賛成全員により同意しました。任期は3年です。

※固定資産評価審査委員会とは、固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査決定するために、地方税法の規定により、市に設置する執行機関です。

委員は、議会の同意を得て、市長が選任します。本市の定数は3人です。

人権擁護委員候補者の推薦

令和6年12月31日に任期満了となる人権擁護委員に、内海正志氏(天山)、畠中智恵子氏(板戸)を引き続き、伊藤都子氏(高森)を新たに推薦したい旨の議案が提出され、賛成全員で同意しました。任期は3年です。

※人権擁護委員とは、基本的人権が侵犯されることのないよう監視・救済することなどを使命とし、市長が議会の意見を聞いて推薦し、法務大臣が委嘱します。本市域の定数は6人です。

市議会の日程

12月定例会の開催予定

- 11月28日(木)本会議(提案説明)
- 12月4日(水)本会議(議案審議)
- 6日(金)委員会(付託審査)
- 9日(月)委員会(付託審査)
- 12日(木)本会議(一般質問)
- 13日(金)本会議(一般質問)
- 16日(月)本会議(一般質問)
- 18日(水)本会議



*本会議は、午前9時30分から開始します。

会議録をご覧ください

議会だよりでは、各議員の質問・答弁の一部を要約し、掲載しています。
詳しい内容は、市議会ホームページの会議録検索システムか、会議録をご覧ください。



予定価格2千万円以上の動産の買入れは議会の議決を得て契約を締結しなければならぬところ、議会の議決を得ないまま事務を執行したことから、議会の追認を行いました。

10月臨時会を開催
10月16日～10月31日

物件供給契約の締結(追認)
「市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」第3条の規定に基づき、

令和5年度決算等を審議するため、臨時会を開催しました。詳細は、議会だより2月1日号でお知らせします。

11月は常任委員会による決算審査を行います。

- ・5日 総務委員会
- ・6日 産業建設委員会
- ・7日 教育福祉委員会

*傍聴については、事務局にお問い合わせください。

一般質問

9月定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。（順不同）

Q&A



一般質問とは、本会議で議員が市政全般にわたって市長等（執行機関）に対して疑問点を質問したり、政治姿勢を明らかにしたりするものです。



市政振興のため職員の働き方改革と待遇改善を！
【志政会】長嶋 一樹

Q 職員の身分、権利等を擁護する職員組合からの適正規模の職員配置についての要望にどのように対処しているのか、また、本市を職場として優先的に選択してもらうためには何が必要であると考えられているのか、市の考えを伺う。

採用の確保に努めているところである。
また、本市を職場として選択してもらうために給与等の待遇面において、情勢適応の原則により、本市だけ待遇をよくすることは難しい状況である。本市で働く選択肢を持つてもらえるよう、本市や本市で働く魅力を知っていただくと同時に、誰もが働きやすい職場環境を整えることで魅力的な職場にする必要があると考えている。

【総務部長】職員組合からは、定期的な要望の場において、職員不足による職員の負担が過重となっている現状を軽減するため、職員採用を計画的に実施するよう要望を受けている。職員の採用試験を複数回行うことで



文化財の魅力を全国に広めるための戦略について
【いせはら未来会議】安藤 玄一

Q デジタルコンテンツの活用は伊勢原市の文化的遺産を守りつつ、多くの人々にその価値を知ってもらう絶好の機会だと考える。市がこの提案を真剣に考慮し、実現可能な計画を立てていくことを強く希望するが、見解を伺う。

伝え、地域の魅力を高めるとともに、所有者等にもメリットがあり、結果として本市の文化財の継承に資することとなる。市として、文化財の保存と活用の両面を目指し、関係組織と連携を図りながら、デジタル情報の発信をより充実させていく取り組みに努めていく。

【歴史文化推進担当部長】文化財に関するデジタルコンテンツの活用は伊勢原市の文化財の価値を



定年延長の動向について（自治会役員の担い手不足）
【志政会】大垣 真一

Q 自治会役員の担い手不足の課題に対し、地域力創造アドバイザーを活用し、持続可能な地域コミュニティの実現に向けた調査研究を始めているが、地域力創造アドバイザーは課題に対して具体的にどのような役割を担っているのか伺う。

性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家である。本市における地域課題や自治会など地域コミュニティの課題などに対し、将来に向けてどのように対処していく必要があるのか、ともに考える役割を担っている。今年度は、アンケートを行う際の手法や検証方法などについて助言をいただくほか、人口動態などを踏まえた本市の地域課題等に対して、先進市の



市民の健康増進のため、全天候型プールの整備を
【志政会】埴田 巖

Q 今後、学校プールの在り方の検討を進める中で、天候や気温に左右されない、厚木市や秦野市のような全天候型のプールを公共施設として整備すべきと考える。また、少子化問題もあるため、授業以外に市民に開放することと市民の健康増進にもつながると考えるが、市の見解を伺う。

令和5年3月に策定した公共施設再配置プランにおいて、学校の適正配置等の検討を踏まえ、鈴川公園のプール施設と一体的に今後の在り方について検討することを位置づけている。今後、関係部署と連携しながら同プランに基づく検討を行うっていく。

【教育部長】学校のプール施設整備については、自治体DX—ICT活用による市民の利便向上
【いせはら未来会議】森尾 武史



自治体DX—ICT活用による市民の利便向上
【いせはら未来会議】森尾 武史

Q 自治体DXにおいて、ネット上で完結する公共施設の予約や、電子マネー決済の対応は当たり前とも言えるポイントであり、市民の利便性アップへの効果は極めて高いと考えるが、市の見解を伺う。

公共施設の利用については、利用できる方々の要件が施設ごとに異なることから、現在、要件の確認のために窓口での利



成瀬地区を含む東地区の消防力について
【創政会】小沼 富夫

Q 最近の住宅開発や産業系土地利用の観点から、成瀬地区の人口増加を考えると、東地区の消防力の強化が必須と考えるが、見解を伺う。

については神奈川県下消防相互応援協定により、隣接する厚木市消防署管内からも出動し、対応していただいている。また、救急出動については、伊勢原市消防署の組織等に関する規程に基づき、受け持ち区域の救急隊が出動し、対応している。令和7年4月からの秦野市伊勢原市共同消防指令センター運用開始後は、災害現場に最も近い救急隊が出動する体制に切り替えることで消防力の強化を図る予定である。

【消防長】成瀬地区を含む東地区は、大規模な住宅地や商業施設、大型倉庫などの産業施設が存在し、重要な地域の一つと認識している。特に、成瀬地区内の高森台地内は、他の地区内と比較すると、災害現場到着までに時間を要することが課題となっている。現在、火災出動などに

【その他の質問】
◎ふるさと納税について

議会のインターネット中継をご覧ください

パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも、ライブ配信（生中継）と録画配信をしています。

「傍聴に行けない」「外出先から議会中継を見たい」等の理由で議会に来ることができない方も、積極的にご利用ください。

令和4年6月定例会の録画配信分より、会議録へのリンク機能、中継映像の字幕機能が追加されました。※各機能とも、会議録の公開にあわせての対応となります



伊勢原市議会 検索





香害（化学物質過敏症）の
市民周知は進んでいるか

「庶民」 岸 圭介

Q 香害（化学物質過敏症）で苦しんでいる人にとっては、身近な人が柔軟剤や消臭スプレー、農薬などを使わないことが解決策であると考えますが市民への周知は進んでいるか。

香害（化学物質過敏症）者への啓発に取り組んだ。また、本市独自に作成した啓発ポスターを市役所本庁舎、市内の小中学校及び伊勢原警察署に掲示した。

A 【経済環境部長】本市ではこれまで、化学物質過敏症に関する啓発記事や、国の関係省庁が作成した香害に関するポスターを市の公式ホームページに掲載したり、市役所本庁舎にポスターを掲示するなど、市民や来庁

さらに、保健福祉部では、化学物質過敏症を発症している人が障がい者に含まれることなどを本年6月末に市の公式ホームページに掲載し、市民に周知した。

【その他の質問】

◎中学校部活の地域移行
ほか



自転車に対しての道路交通法
改正の内容について

「志政会」 米谷 政久

Q 令和4年に道路交通法が改正され、自転車を利用する全ての人の乗車時のヘルメット着用が努力義務になったが、本年5月に公布された改正道路交通法の内容について伺う。

A 【市民生活部長】道路交通法については、大きく3点の改正があった。

①携帯電話使用等および酒気帯び運転の禁止であり、自転車の運転中の携帯電話使用等および酒気帯び運転を禁止するとともに、罰則規定を整備し、交通事故防止を図る。②自転車等の安全を確保す

るための規定の創設であり、自動車等が自転車等の右側を通過する場合、両者の間に十分な間隔がないとき、自動車等は自転車等との間隔に応じた安全な速度で進行すること、また、自転車等ではできる限り道路の左端に寄って通行することが、新たに規定をされている。

③自転車等に対する交通反則通告制度の適用であり、16歳以上の者が自転車等の運転をしたときに違反行為をした場合、青切符の対象となる。反則金の金額などについては、今後、政令で定められる予定であり、①、②は公



将来を見据え市営屋内温水
プールの本格議論を

「いせはら未来会議」 橋田 夏枝

Q 初期費用もランニングコストも多額な屋内温水プール施設は、すぐに実現できるとは考えていない。しかし、数年かけて

市庁内横断的に研究し、市民の声を聞きながら、必要性について議論していく姿勢が必要ではないかと考えるが、市の見解を伺う。

【健康づくり担当部長】



市民の命を守る防災・減災
対策の推進を

「公明党」 今野 康敏

Q トイレ環境の整備は命を守る取り組みに通ずるため、本市においてもトイレトレーラーの整備を積極的に検討すべきと考えるが、見解を伺う。

A 【危機管理担当部長】トイレトレーラーは、災害時の利用を想定して企画、設計された移動設置型のトイレで、災害発生時には迅速に避難所に駆けつけ、ライフラインの復旧状況などに関わりなく、日常に近いトイレを提供できるメリットがある。一方、購入費用が高額なことに加え、自走できないため、牽引する車両などの運搬手法や、その経費、通常時の保管

場所、維持管理費など、導入に向けては慎重な検討も必要であると考えている。また、災害時用トイレとしては、トイレトレーラーのような移動式トイレは、牽引免許の要らないタイプや自走式のトイレカーなど、近年、さまざまな機能や価格の物も開発されている。

先進事例の調査を行うと共に、さまざまな移動式トイレの情報収集を行うなど、災害時用トイレの充実に向けた検討を進めていきたいと考えている。

【その他の質問】

◎森林を活かした観光資源の創出について



教育長が望む理想の教育
現場とは

「進風会」 山田 昌紀

Q 教育現場は大変苦労が多いと考えるが、教育長が望む理想の教育現場について伺う。

A 【教育長】学校の一角には、地域の人たちが自由に集える場所があり、地域の人の姿が当たり前のように学校にあり、地域のひとと子どもたちは自然に触れ合い、授業の補助をしながら子どもたちの支援を行っている人がいたり、小さい子を連れて保護者が授業参観やPTAの活動で学校にやってきました際は、小さい子はそこにいる地域の人たちが見守ってくれることもある。このような学校の中で、教職員、地域の人

たち、保護者などの大人たちは、校内のさまざまなところで緩やかに関わりながら楽しそうに活動している。こういった大人たちの姿を子どもたちが日常的に目にするのができる学校が理想だと考えている。その上で地域のひとと学校と家庭がよりよくコミュニケーションを取ることで、お互いに困っていることを話し合ったり、何ができるかを一緒に考えたりできることが理想の教育現場ではないかと考えている。

【その他の質問】

◎市道における歩道整備について



浸水箇所から市としてポンプ
排水するなどできないか

「志政会」 越水 崇史

Q 雨水による浸水箇所の発生は、民地に設置した排水管頼みの状況が原因と考えるが、市民の生命財産を守るために、市として最寄りの雨水管までポンプ排水するなどできないか伺う。

A 【水道担当部長】当該浸水箇所の最寄りの雨水管として、（市道76号線内に埋設されている）雨水矢羽根第3-1幹線がある。この雨水管は、市

道76号線に隣接する市街化区域を主な集水域として整備された雨水管であり、当該地区は集水域に含まれていない。流下能力については当該地区を含めていないため、大雨時、当該地区の雨水を最寄りの雨水管へ排水することは、新たな箇所での浸水被害が生じる可能性があるため、最寄りの雨水管へポンプ排水することとは難しいと考える。

所属会派名は9月定例会一般質問時点の
会派名を記載しています。

議会 日誌

8月

8日・議会運営委員会
9日・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会
14日・9月3日
・9月定例会

9月

3日・会派代表者会議
・議会広報委員会
6日・都市計画審議会
29日・議会運営委員会
23日・教育福祉委員会
22日・総務委員会
14日・議会広報委員会
14日・9月3日
・9月定例会

10月

2日・総務委員会
・産業建設委員会
・教育福祉委員会
3日・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会
4日・全員協議会
8日・議会運営委員会
9日・10日
・全国市議会議長会
・研究フォーラム
15日・関東市議会議長会
・理事会
16日・10月臨時会
18日・議会広報委員会
25日・議会運営委員会
29日・県市議会議長会
定例会
30日・金目川水害予防組合議会

常任委員会勉強会を実施

委員会が所管する施策、事業について先進的な取り組みを行っている自治体を講師に迎え、勉強会を開催しました。

●教育福祉常任委員会 令和6年10月22日（火）
神奈川県二宮町
・小中一貫教育「にのみや学園」について

議員の住所と電話番号
が変わりました

越水 崇史
桜台3-1-20
☎63-0855

過去の議会だよりを
ホームページから
御覧いただけます。



9月定例会の審議状況

○は賛成 ■は反対

番 号	件 名	志 政 会								いせはら 未来会議			公明党		共産党		進風会		創 設 会	庶 民	議決 結果
		越水 崇史	大垣 真一	長嶋 一樹	八島 満雄	多田 厳	米谷 政久	前田 秀資	大山 学	安藤 玄一	森尾 武史	橋田 夏枝	中山 真由美	今野 康敏	川添 康大	勝又 澄子	荻野 貴文	山田 昌紀	小沼 富夫	岸 圭介	
議案第47号	令和5年度公共下水道事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	■	■	○	○	○	○	認定
議案第48号	学校給食費に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第49号	附属機関に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第50号	令和6年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	■	■	○	○	○	○	可決
議案第51号	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第52号	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第53号	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第54号	物件供給契約の締結	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第55号	市道の廃止	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第56号	市道の認定	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第57号	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第58号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第59号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第60号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第61号	物件供給契約の締結(追認)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳 情																					
陳情第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情	■	■	■	■	■	■	■		○	○	○	■	■	○	○	■	■	■	○	不採択
陳情第6号	現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書提出の陳情	■	■	■	■	■	■	■		○	○	○	■	■	○	○	■	■	■	○	不採択
陳情第7号	伊勢原市に現存する児童館(児童福祉法第40条規定の児童厚生施設)の廃止計画の中止を求める陳情	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	■	■	○	○	■	■	■	○	不採択
陳情第8号	議員による職員への政党機関紙の庁舎内勧誘行為の中止を求める陳情	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	○	○	■	■	■	■	○	■	不採択
陳情第9号	現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書提出を求める陳情	■	■	■	■	■	■	■		○	○	○	■	■	○	○	■	■	■	○	不採択

会 派 一 覧 表

会 派 名	人数	所属議員氏名 ◆は代表
いせはら為成会	6	◆大垣 真一 越水 崇史 長嶋 一樹 八島 満雄 館 大樹 大山 学
いせはら未来会議	3	◆橋田 夏枝 森尾 武史 安藤 玄一
志 政 会	3	◆米谷 政久 多田 厳 前田 秀資
公明党いせはら	2	◆今野 康敏 中山真由美
日本共産党伊勢原市会議員団	2	◆川添 康大 勝又 澄子
進 風 会	2	◆山田 昌紀 荻野 貴文
創 政 会	1	◆小沼 富夫
庶 民	1	◆岸 圭介

◇委員会・議会選出の役職◇

◎は委員長 ○は副委員長

総 務 会 常任委員会	◎安藤 玄一 〇川添 康大 岸 圭介 山田 昌紀 館 大樹 小沼 富夫 大山 学
産 業 建 設 常任委員会	◎前田 秀資 〇今野 康敏 荻野 貴文 越水 崇史 多田 厳 米谷 政久 森尾 武史
教 育 福 祉 常任委員会	◎大垣 真一 〇橋田 夏枝 中山真由美 勝又 澄子 長嶋 一樹 八島 満雄
議 会 運 営 委 員 会	◎米谷 政久 〇今野 康敏 山田 昌紀 川添 康大 大垣 真一 長嶋 一樹 安藤 玄一
秦 野 市 伊 勢 原 市 環境衛生組合議会議員	今野 康敏 山田 昌紀 長嶋 一樹 安藤 玄一
金目川水害予防 組合議会議員	川添 康大
監 査 委 員	八島 満雄
議 会 広 報 委 員 会	◎越水 崇史 〇森尾 武史 荻野 貴文 勝又 澄子 大垣 真一 米谷 政久 中山真由美

新たな構成決まる

9月22日に執行された市議会議員補欠選挙において当選した1名を新たに市議会に加え、市議会の新たな構成が決定しました。

◇新議員の紹介◇



館 大樹
下糟屋3009番地の12
☎74-5626

編集後記

9月定例会は、3期12年の任期で退任された高山前市長の最後の定例会となりました。

これまで、東部第2土地区画整理事業および新東名高速道路の伊勢原大山インターチェンジ周辺の土地区画整理事業で企業誘致を行い、税収増の一助として財政健全化を目指してきました。

さらに、伊勢原駅北口再開発や小田急電鉄総合車両所建設などの計画に、期待する声も多いと感じています。

一方、老朽化が進む公共施設の改修や医療・介護に係る費用の増加、さらなる子育て支援など歳出は増加傾向です。

これから萩原新市長が取り組む課題解決と公約の実現について、市議会

は検証してまいります。

(中山)

議会広報委員会

委員長 越水 崇史
副委員長 森尾 武史
委員 荻野 貴文
勝又 澄子
大垣 真一
米谷 政久
中山真由美



令和6年10月1日 現在